

総合型選抜入試の目的と特徴

総合情報学部の総合型選抜入試は、本学部が求める人物像に合致した方が志願することのできる専願制入試です。高等学校の学業成績だけでなく、試験当日の課題に対する評価、面接を通してアドミッション・ポリシーの理解度や受験生個人の適性、入学後の意欲、学修への計画、姿勢、将来性などを総合的に評価します。また、選考方法による課題テーマの違いはなく、共通のテーマとなります。各選考方法の違いによる評価の観点は次の通りです。課題探究(プレゼン)型では「自身の考えを他者へ伝える表現力を重視」し、課題探究(レポート)型では「自身の考えを他者へ伝える文章力を重視」します。自身の力を最大限発揮できる選考方法を選択してください。

教育目的と求める人物像

■教育目的

総合情報学部の教育目的は、情報技術によって人々が暮らしやすい社会を構築できる人材を輩出することです。そのため、個人の興味・関心に応じて、「AI・データサイエンス」「ビジネスデータサイエンス」「情報システム」「デジタルコンテンツ」「スポーツデータサイエンス」の5分野それぞれの専門知識を学びます。これら5つの分野は情報というキーワードで相互に連携しています。2年生以降はゼミに所属し、担当教員による個別指導を受けながら、卒業論文や卒業制作をとおして、情報化時代のビジネスパーソンとしての基礎的能力の獲得をめざします。

■求める人物像

1	[知識] [技能]	英語・国語・数学および理科または社会分野に関する基礎的な内容を身につけている人
2	[思考力] [判断力]	阪南大学アドミッション・ポリシー記載の内容に加えて、関連する情報を収集し、それらを総合した明確な根拠に基づいて思考し、筋道立てて判断できる能力がある人
3	[関心] [意欲]	ビジネスやスポーツを含むあらゆる分野で情報化が進化する社会に関心を持ち、その仕組みや機能とそれらの社会への応用についての学修意欲がある人。また、学部教育で修得する数理・データサイエンス・情報技術・ビジネス・スポーツに関する知識を元に、情報の利活用によって豊かで生産的な社会の実現に貢献したいと考えている人。上記の内容を含め、以下のいずれかにあてはまる人
		3-1 AI・データサイエンスの知識や技術を身につけることで、国内外の企業において活躍しようとする人
		3-2 情報システム技術を身につけることで、国内外の企業において活躍しようとする人
		3-3 情報技術を利用したデジタルコンテンツ制作に関心のある人
		3-4 企業や店舗の経営をめざし、経営にAI・データサイエンスや情報システム技術を利用することに関心がある人
		3-5 数学等で学んだ思考力に基づいて、ビジネスやスポーツを客観的に分析することに関心のある人
		3-6 保健体育または芸術科目の基礎力を有し、幅広い年齢層を対象としたスポーツ・運動の理論と技能を学ぶ意欲のある人や、人間の心身の可能性を探究する意欲のある人
3-7 AI・データサイエンスや情報技術、あるいはスポーツ・健康の分野で、国際社会や地域社会への貢献に関心がある人		

選考方法および課題、選考における評価基準

課題探究(プレゼン)型

選考方法

- ①学修計画書: 出願時に提出する事前提出書類です。
- ②プレゼン: 試験当日に学部で指定されたテーマについて、8分~12分程度のプレゼンを実施します。プレゼンの方法は試験室内で行えるものであれば自由です。ただし、パソコン等の機器を持ち込む場合は事前に入試広報課に相談してください。配付資料がある場合は、資料を2部持参してください。
- ③個人面接: 試験当日、「学修計画書」および「プレゼン」をもとに質疑応答を行います。
※試験時間は「プレゼン」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

プレゼンテーマ 下記の課題テーマを参照 評価基準 下記の評価基準を参照

課題探究(レポート)型

選考方法

- ①学修計画書: 出願時に提出する事前提出書類です。
- ②課題レポート: 出願時に提出する事前提出書類です。学部で指定されたテーマについて、800字~1,200字の課題レポートを作成してください。
- ③個人面接: 試験当日、「学修計画書」および「課題レポート」をもとに質疑応答を行うため、課題レポートの概要に関する要約資料(フリップやポスター等)を持参しても構いません。面接当日に説明できるように準備をしてください。
※試験時間は15分程度です。

課題レポートテーマ 下記の課題テーマを参照 評価基準 下記の評価基準を参照

課題テーマ (課題探究(プレゼン)型・課題探究(レポート)型共通)

以下の6つの課題テーマから1つを選択してください。

※プレゼン型を選択した方は、課題レポート用紙(原稿)を出願書類送付時に提出する必要はありません。

- ①生成AIの使用による著作権の問題や、フェイクコンテンツ生成の危険性について、自分の意見と具体的な事例を交えて説明してください。
- ②家・自動車を買う、自分で事業を立ち上げるなど、人生の各ステージでまとまったお金が必要になることがあります。しかし、日本人の資金運用は、預貯金など安全な資産に大きく依存しています。もちろん、そのような運用は元本を減らす危険性は少ないのですが、飛躍的に資産を増やすことも望めません。そこで、これからのお金の運用はどのように手掛けるべきかをテーマに、各種資料を調査した上で自身の意見を説明してください。
- ③YouTuberやSNSのインフルエンサーは、デジタルコンテンツを作成・発信するビジネスを企画・運営しています。あなたが情報(デジタルコンテンツ)発信に関するビジネスに従事する場合、どのような工夫をしますか。失敗事例と成功事例を調べて説明してください。
- ④近年、スポーツの現場ではデータや情報といったツールを活用してパフォーマンスを高めようとする取り組みが盛んに行われています。あなたが競技スポーツやダンス作品の創作をする上で映像や音楽、身体データなどの情報にどのように向き合い、それを活用したいかを説明してください。
- ⑤近年、様々な分野での情報コミュニケーション技術の活用が期待されており、科学、技術、工学、数学の英語の頭文字からなるSTEM(S: Science T: Technology E: Engineering M: Mathematics)というキーワードが欧米で注目を浴びています。ICTやAIに関する技術の中で、あなたはこれまでにどのような技術に関心を持ち、今後どのような活動をしていきたいか説明してください。
- ⑥ブロックチェーン技術やIoT、ARやVRなどのIT技術の発展により、さまざまな新しいサービスやソリューションが生まれています。このような最新技術を用いた新しいサービスのアイデアを提案してください。

※各課題の準備については下記を参考にしてください。
総合情報学部は「AI・データサイエンス」「ビジネスデータサイエンス」「情報システム」「デジタルコンテンツ」「スポーツデータサイエンス」の5つの分野があります。阪南大学入試サイトにある学部紹介ページを参考にしてください。

評価基準

項目	配点	備考
事前提出書類(学修計画書・調査書)	40%	志望動機、学修意欲、高等学校等での努力や姿勢など
個人面接	40%	アドミッション・ポリシー理解度、意欲、計画性、論理性、表現力など
課題探究(プレゼン)型 プレゼン	20%	表現力、論理性、創造性、完成度など
課題探究(レポート)型 課題レポート		文章力、論理性、創造性、完成度など